

市の中心地からおよそ十七キロ、市農業地域の中心的役割を果たしている幌糠町に地域公民館が、さる七月から工事が開始され、いよいよ十二月八日オープンします。



完成した幌糠地区公民館

幌糠地区公民館完成 八日オープン

農業地域の研修・憩いのセンターに

地域活動の拠点として活用

留萌市の農業地域の中心的役割を果たしている幌糠地区には、早くから農村青少年の育、婦人たちの教養を高め、各サークルの活動の場として公民館の建設が望まれていたものです。旧留萌川切替地の真中に建設された公民館はとくに、この地域を中心として藤山周

辺、樽真布南幌、峠下地区など農村地域が多く、冬季などの農閑期を利用しての活用が期待されています。

この幌糠地区公民館は、総面積六百十五平方メートル、鉄骨造二階建、一階には市の幌糠支所や市立病院幌糠診療所も入るよう計画中で、その他、レクリエーション室、保育室、そして地域老人たちが集って親睦を深めてもらうための老人室（和室）、青少年のより教養

を深めるための青年研修室、婦人の料理教室など、文字通り老若男女が利用できる施設となつていきます。

また、市立図書館のコーナーも設けられ、計画的に蔵書も増やすとともに、貸出しも行なわれます。従来、この地域には、特別の集会施設もなく、学校などの施設を利用してきましたが、この公民館完成で、より市民館活動が積極的に進められ、地区の人たちの、より文化的な教養の向上を図ることができるようになります。

幌糠公民館平面図



市生活安定対策協議会が発足 市民ぐるみで生活安定を

「狂乱、高騰する諸物価の安定と、物資の安定供給を図ろう」とさる十一月二十一日、市会議室で留萌市民生活安定対策協議会が発足し、諸物価の安定対策の推進を大きな柱として、市民ぐるみの協議会が、いよいよスタートを開始した。

調査、研究し、その意見を市長に具申し、市政に反映させようとするのが、この協議会の狙い。協議会の組織団体としては、消費者協会、生活学校などの主団体、他、商工業界からは、商工会議所、そ菜、鮮魚、燃料、卸売など、あらゆる市民生活に密着した団体が相寄り、協議会の発足を見たいものです。

会長には、高橋信郎氏（学識経験者、市消費経済懇談会々々長）を選任し、調査や研究を進めるために消費者部会と生産販売部会の二部会を設け、きめ細やかな事業運営を進めます。

- 協議会の進める主な事業として
- 諸物価の安定策の推進に関すること
- 生産と流通機構の改善に関すること
- 商品知識の啓発と生活の合理化の推進に関すること
- その他、市民生活の安定対策に関する事項

より市民生活安定に努力

市民生活安定対策協議会々々長 高橋 信郎



新任医師の紹介

医師不在で出張医によって診療を行なってきた市立総合病院小児科へ、新しく三浦、元川の両医師が就任されました。

両医師の就任により、毎日診療が行なわれるようになりましたので、お子さんをもたられるご家庭では、より安心して診療が受けられることになりました。新任の両医師をご紹介します。



〔三浦良一医師〕 大正十五年十二月生、留萌郡小平町出身。昭和四十四年国立道第一療養所に勤務、以後西札幌病院を経て、国立稚内療養所長に就任、さる十一月同所長退職、市立病院副院長に就任、その間に、三十五年に医学博士学位授与、四十三年札幌医大小児科講師を委嘱される。



〔元川 卓医師〕 昭和二十二年三月生。昭和四十七年三月、札幌医科大学卒業、同年五月、医師国家試験合格その後、同大学小児科教室に入り医学研究を続けてこられました。また、旭川日赤十字病院出張医師として活躍されてきました。

	土	金	木	水	火	月
午前	〃	〃	〃	〃	〃	一般外来
午後	〃	疾患外来 アレルギー	乳健	休診	外来 慢性疾患	休診

但し午後休診の場合でも急患の場合受け付け致します。

市民経済生活への助言役もかねるものです。

最近の物価高には、どうにもならないという気持ちが先にたちますが、しかし、だまっていたのでは、何の問題の解決にもなりません。今回、この生活安定対策協議会が発足し、専門部の活動を通じ、流通機構の改善や市民の消費生活の環境改善をはかっていくことが大切ですが、これには、具体的な調査と研究、そして実際の活動が要求されてきます。

お互いに努力し、より積極的な対策が講じられることが必要です。微力ですが、どこまでやれるか心配ですが、とにかく一生懸命努力し、みなさんと共に市民生活安定への一枝となれば幸いです。